

Take Free

ご自由にお持ちください



新型コロナウイルス
感染防止
キャンペーン

青森で生きて死ぬことを想う

めめんと青森

memento aomori



特集 デスカフェでお茶を

平安閣 CASITA

No.2
2020
September

ごあいさつ



儀式とは、見えない思いを形にすること。

力士は^{かしわで}柏手を打ち、両手を大きく広げる動作をとります。これを^{ちり}「塵をきる」と呼び、相手に対して刃物などを持たないことを示しているといえます。乾杯で杯を合わせるのは、そこでお互いの酒が混じり合い、毒を盛っていないことの現れとも。

儀式の形の先にある先人の思いを探ることで、人と人の繋がりへの深い意味が見えてくることがあります。

「儀式を軽んずる国家は滅ぶ」と儒教の大家・孔子はいいました。それは儀礼が単に行儀の良い悪いだけではなく、もっと社会の根幹に関わることで捉えていたからに他なりません。混沌とした世の中だからこそ、もう一度、冠婚葬祭の儀式の意味、本質を見つめる必要があるのではないのでしょうか。

めめんと青森No.2を発刊いたします。

みなさまの青森での暮らしの糧やヒントに少しでもなれば幸いです。

株式会社リンクモア
代表取締役社長

ふなはし もとゆき
船橋 素幸



【 特 集 | Feature 】

デスカフェで お茶を



ZOOM 座談会：

スイス発、世界に広がる死を想い、死を語るムーブメント

デスカフェはスイスの社会学者バーナード・クレッタズさんが妻を亡くし1999年に死について語り合う場を開いたことから始まりました。やり方はシンプル。カフェなどでケーキを食べたり紅茶を飲んだり、気楽な雰囲気の中で死について語り合うというもの。世界中に広まり70 カ国、1 万件以上のデスカフェが開催。青森では特別養護老人ホーム三思園がデスカフェを実現。日々、人の生と死の現場を見つめ、デスカフェの実践に取り組まれている方々にお集りいただき、ZOOMのオンライン会議システムで座談会を開きました。



よしかわ なおと
吉川 直人
京都女子大学 助教



たかはし しんいち
高橋 進一
社会福祉法人中央福祉会本部 看護師長
三思園看護主任



あべ かずき
阿部 一樹
三思園 主任生活相談員



ふなはし もとゆき
船橋 素幸
株式会社リンクモア代表取締役社長

青森でデスカフェはじまる

高橋 三思園を運営する社会福祉法人として、何らかの貢献を地域にできないかと考えていました。これまでの地域開放のお祭りなどではない、地域との繋がる新しい試

みを。当時、三思園のお隣の青森中央短期大学で教えていた吉川先生にご相談したところ、デスカフェは知っていますかと。認知症カフェというのは 2018,19 年頃に盛んになってきたけれど、デスカフェというのは新しい試みだと思いました。それでやっ



三思園による青森中央学院大学でのデスカフェの様子



入棺体験



ディスカッションも

てみることにしました。最初は「もしバナゲーム」という人生最後になにをするのか、大切なことを絞り込んで行くカードゲームを使いました。楽しく遊びながら、いつのまにか、死に際して人それぞれ多様で深い考えを持っていることを共有して行くのです。その次は、入棺体験をやりたいと考えました。こんな縁起でもない体験(笑)をどこに相談に行けばよいか?青森在宅緩和ケア懇話会^{*注1}のお医者さんたちにもご紹介いただいて、これもご近所、勝田の三思園の近くにある平安閣 CASITA 光の船橋社長へ相談に伺ったところ、快くご協力をいただいたという次第です。

吉川 これまで「高齢者と児童の世代間交流」など、人と人の繋がりを研究テーマとしてきました。その流れで、デスカフェに注目していたところ、高橋さんから話をいただきました。デスカフェはスイスで始まりました

が、イギリスの社会起業家ジョン・アンダーウッドさんが、2011年にガイドラインを作成し、さまざまな人が開催しやすいように「deathcafe.com」というコミュニティサイトを設立して世界に広まりました。国内ではdeathcafe.comのガイドラインを参考にしたデスカフェが2014年前後にかけて増え、東京や仙台などでデスカフェの本格的な実践が始まります。2017年頃になるとデスカフェは多様な形態に展開します。死とは何かを語る「哲学系」、大切な人を失った心に寄り添う「グリーフケア系」、弔辞作りなどワークショップを通して死を考える「ワーク系」など、全国20カ所以上で開催されるようになります。しかし、コロナの影響で今年2月以降、対面でのデスカフェが休止となり、4月からはオンライン形態に移行し始めています。今後はオンライン、対面の双方の形態を使い分ける形式になって

いくと考えられます。

キーワードは「繋がる」

船橋 私も体験してみて、お茶とかお菓子を食べながら若い人もお年寄りも一緒になって気軽に死という重い話題に感想をいい合う姿に感銘を受けました。今回のキーワードは「繋がる」なのかな。高齢化が進み、多死社会といわれる時代に、福祉や医療、教育、行政、民間企業、高齢者や若者、こどもたち、多様な人たちが、死という誰にも共通して訪れる問題に、気軽に触れることで、思いや情報を共有して繋がっていく。ちなみに吉川先生、お酒を飲みながらというのもあるのですか。

吉川 それは、デスバーになります(笑) オンラインのデスカフェでは、ネットの画面の前に各自お茶やコーヒーなどを持ち寄って飲みながら語り合うというスタイルです。主に同時双方向オンライン会議ツールであるzoomを使うことが多いです。

船橋 私がデスカフェの意義を感じるのは、危機感を覚えているからです。昔は自宅で家族が死を看取る。死は身近にあった。いまの日本では多くの人は病院で死を迎える。暮らしから死が離れてゲーム感覚になっていないかと。こどもたちが命の重さを認識するのが難しい時代に危機を感じるのです。

高橋 施設スタッフが入所者さんたちの死

への不安を抱えている。死を見つめることが出来る、安心して見守りながら寄り添える人材を福祉の現場に育てて行くことが必要だと痛感します。

阿部 娘が小さい時に、職場から自宅の携帯に電話がかかってくると、「パパ、まただれか亡くなったの」と聞くのですね。いつも笑顔で仕事しているはずなのですが(笑) 携帯に出る時は、知らずのうちに厳しい顔になっている。死を避けずに取り組んで行くことの大切さと難しさを日々感じます。

船橋 葬儀社のイメージも20年ぐらいの間に大きく変わりました。1984年の伊丹十三「お葬式」では葬儀社はかなりブラックに描かれていましたが、2008年の「おくりびと」でイメージが変わった。

高橋 30年ぐらい前の話ですが、うちに勤めていた若い介護福祉士でお年寄りの死をみて半日で辞めた方もいた。それが今では、介護で看取りをすることに、仕事の意義を感じるようになった。こどもも高齢者も、地域で繋がって見守っていく必要がある。船橋社長がいつている「CCRC」*注2 も関



ZOOM会議の様子

係する話ですね。

吉川 コロナ禍で自らの死生観を揺さぶられ、死について語りたい需要が増している状況でもあります。

心の壁を作っていたのは 自分たち

船橋 三思園さんでは、入所者が亡くなると、施設をあげてみんなでお見送りをしてらっしゃいますね。

高橋 三思園では、故人が好きだった曲などを流してみんなで見送りしています。最初からお見送りをしていたのではなく、やはり初めは死亡診断がでたら、早く自宅に帰すのが使命だと感じていました。特養は全国平均で入所者は4年ぐらい滞在するのですが、三思園では20年暮らしている方もいる。そういう人との繋がりの中で、見送りは培われて来た。いまでは、うちの若いスタッ

フが、自分は「愛の讃歌」で送ってほしいなんていっています。ビクビク見送っていた時代がはずかしいぐらい、当たり前になってきた。心の壁を作っていたのは、自分たちだったのかも知れない。高齢者は自然に受け止めているのです。

吉川 現在、コミュニティでは、ストロングタイズ、人々の強い結びつきが弱体化していくのが大きな流れとなっています。デスカフェはストロングタイズに対して、ウィークタイズ、ゆるやかな繋がりです。人々はウィークタイズにいくつも所属し所有して、繋がってコミュニティを形作るのが、これからの流れではないのでしょうか。キーワードは「自主性」です。否応なしに参加する場だと新たな発想が生まれにくい。対話と新しいアイデアが生まれて行くゆるやかな結びつきの場としてデスカフェは機能していくのだと思います。

*注1 青森在宅緩和ケア懇話会 <https://aomori-kanwacare.com>

*注2 Continuing Care Retirement Community 継続ケアが完備された退職者のコミュニティ、めめんと青森No.1 参考

お知らせ

9月21日(月・祝)～27日(日)

全国のデスカフェ主催者が集う初のサミット

「DeathCafeWeek2020」がオンラインで開催予定

詳しくは <http://deathcafe-week.mystrikingly.com/>



Topics from Heiankaku

白い制服 — ホワイトレディ

平安閣には、白い制服を着たホワイトレディと呼ばれるスタッフがいます。葬儀社で白い服装というのは、めずらしいようです。

葬儀には黒衣装が当たり前。葬儀だけではなくありません。フォーマルな場では服装は黒。しかし、よく考えてみると、死装束というのは白。三角巾も白です。時代劇でも切腹する時は白装束を身につけています。

元来、白は「太陽の色」「身を清め、神聖な儀式を行う」とされ心の美しさを象徴します。白は、生まれた時に着る服にも使われます。実は黒がフォーマルというのは、明治政府が西洋に倣って制定したものです。平安閣では、こうした色の意味の原点に立ち返って、白い制服を採用しているのです。



青空真 vol.2



海のある街

就職して数年は寮暮らしだった。同世代ばかりの生活は楽しかったが、ひとりの休日も好きだった。当時はよく、中古の白いホンダスーパーカブにまたがって海へ行った。フェリー埠頭に居並ぶ大型バイクの隣に小さなカブを置いて、そのかわいい後ろ姿を眺めて悦に入る。売店で買ったフランクフルトを手に堤防に座り、フェリーが水面に描く軌跡を飽きもせず見続けた。船が出て、旅人が行き交う。住みついたばかりの海のある街を時速30kmで冒険した。寮を離れるとき、スーパーカブは後輩が買い取ってくれた。十数年後、久しぶりに電話で話した後輩は、結婚報告の後、まるで同じくらい大切なことのように付け加える。

「カブ、後輩に譲りました。」

綺麗に整備して現役ですよ」

白い小さな車体は、今もこの街のどこかを走っている。たまには海に連れて行ってもらえるといい。

さいとう じゅんこ

齋藤 純子

Writer/Photographer

青森市在住。

シドニーのフォトスタジオ、青森県内の制作事務所等を経てフリーランス。青森と東北を中心に、全国、青森県内向け媒体の取材・制作に携わる。「カッコトジ」代表

青 森 の ひ と

vol. 02



たけなみ ひろお

竹 浪 比 呂 央

ねぶた師

竹浪比呂央さんは、2018年、2019年、青森菱友会のねぶたで2年連続でねぶた大賞を獲得、作家として最優秀制作者賞を受賞しました。

2018年『岩木川 龍王と武田定清』では、歴史を掘り起こし岩木川の治水に尽力した津軽藩士武田定清に光を当て、水ほとばしるスペクタクルを鮮烈な光の造形へと昇華させました。そして翌年は令和元年。『紀朝雄の一首 千方を誅す』は、天智天皇の治世に鬼の場所はないとの歌を詠み、退散させた紀朝雄を歴史に紐解き、令和という新しい時代の幕開けに相応しいテーマを掲げました。しかも、その表現は、紀朝雄の投じた一首の軌跡が、未来派の絵画のように鬼の間を飛び回る無数の紙片として大胆に表現されました。

2020年4月8日。

新型コロナウイルスの感染拡大によって、ねぶた祭の中止が決定しました。



「紀朝雄の一首 千方を誅す」原画



竹浪比呂央ねぶた研究所

「目の前が真っ暗になった。」と竹浪さんはいいます。

ねぶた師として、無双の芸術の境地を開きつつあった、そんな時のねぶたの中止でした。

中止が決まったその日の夜、竹浪さんはぼんやりと鍾馗様を描いてみようかなと思いました。鍾馗は、唐の皇帝の夢に現れ病を癒しその姿を絵師に描かせたという故事から疫病退散のアイコンとなりました。画集を調べると、平尾魯仙、狩野山雪、北斎、暁斎、芦雪、其一、応挙、文晁、国芳、芳年、北溪。様々な絵師たちが鍾馗を描いている。竹浪さん

は、裏紙に殴り書きのように鍾馗を描き続けました。そして、大型ねぶたの代わりに自分ひとりで出来る100の鍾馗を描くという構想に至ります。それは時代時代に病や災いと戦った絵師たちの足跡を巡礼して行く苦行のようにも思えます。

竹浪さんの若い弟子たちは、それをInstagramにアップするとともに、クラウドファンディングにして師匠の思いを羽ばたかせました。

竹浪さんは、いま、風神雷神を完成したばかりです。東京駅にオリンピックへ向けて整備されたグランスタ東京の

シンボル空間「スクエア ゼロ」のこけら落としのために制作された作品です。吹き抜けの空間に吊り下げられ、観客は見上げるように風神雷神を見ます。足の裏やお尻まで、通常は見ることの出来ない視点で造作した作品でもあります。

ねぶた祭りには中止になりましたが、山車であるねぶたとその作家を支援する全国からの人々の熱い思いは青森に届いています。竹浪さんは、それを制作者への愛の鞭ととらえ、作家としてより高い理想で作品に取り組もうと思いを新たにしています。



東京駅 グランスタ東京「スクエア ゼロ」のこけら落としのために制作された風神雷神

竹浪比呂央 1959年、青森県西津軽郡木造町（現つがる市）生まれ。1989年に初の大型ねぶたを制作して以来、ねぶた大賞、第30回NHK東北放送文化賞はじめ受賞多数。東京ドームをはじめブダベスト、ロサンゼルスなど国内外で出陣ねぶたを制作。竹浪比呂央ねぶた研究所主宰。青森ねぶたの創作と研究を主としながら、「紙と灯りの造形」としてのねぶたの新たな可能性を追求し続けている。

Instagram 竹浪比呂央ねぶた研究所 公式アカウント takenami.hiroo_nebuta.labo

葬儀図鑑

ARCHIVE 02

KICHU-SHI

DISPLAY OF IN MOURNING

【 忌 中 紙 】

Kichu-shi



いまでは何を意味しているのか
分からないということもたちも多いことでしょう。

亡くなったひとの家の玄関に「忌中」と書いて貼り出す。津軽地方には、「門刈」という×型の木材を玄関両端につける風習もありました。かつて死は穢^{けが}れとされてきました。穢れを他人にうつさないようにするための隔離サインだったのではないかと。

古代・中世の葬送では、葬送、改葬、墓の発掘などに携わったために生ずる穢れで、それに触れた人は、30日間、神事や参内などを慎むことになっていました。それが平安末から鎌倉時代になると、説話集にしばしば葬式を望む庶民の存在と、慈悲のために穢れをはばからず葬式を行う僧侶の話が見られます。そうした庶民の願いに応え、組織として葬送に従事し、教団を形成したのが鎌倉新仏教の僧や旧仏教の改革派の僧たちであったといわれています*注。

伝染病で亡くなる方もあったはずですが、科学的な原因が分からなかった時代には、死を迎えた場所を一定期間隔離して、再び、社会生活の日常を取り戻して行くという経験から生まれた風習の名残なのかもしれません。忌中紙には、死への恐れと、それを受けとめ社会に包み込もうとするひとの知恵の相克が写し取られているのです。

*注 山形大学人文学部教授 松尾剛次 「現代における仏教の役割—葬式仏教再考」(2008)より



新型コロナウイルス 感染防止キャンペーン

江戸時代に海から現れ、疫病と豊作を予言して去っていった妖怪『アマビエ』が疫病退散のアイコンとして、今、人々の間に蘇っています。リンクモアでもこの感染防止キャンペーンのシンボルをアマビエに託しました。

リンクモアの
新型コロナウイルス感染防止の対応が
NHKニュース7での全国放送をはじめ、
テレビ、新聞、雑誌に取り上げられています。



- テレビ

NHK ニュース7 (全国放送) 「オンライン葬儀」 2020.5.29

テレビ朝日 グッド!モーニング (全国放送)

「コロナ時代 葬儀もオンラインで」 2020.6.12

テレビ朝日 鳥羽慎一のモーニングショー (全国放送) 2020.8.7

日本テレビ 情報ライブ ミヤネ屋 (全国放送)

「ドライブスルー方式の会葬」 2020.8.13

NHK 青森あっぶるワイド

「広がる “新たな形の葬儀”」 2020.6.2

NHK 青森あっぶるワイド

「新型コロナ拡大で広がる “スマート葬儀”」 2020.6.11

青森朝日放送 ABA スーパーJチャンネル

「多様化する葬儀 最近の葬儀事情」 2020.6.3

青森テレビ ATV わっちNEWS

コロナで変容する葬儀 2020.6.3
- 新聞

産経新聞 全国版 (WEB)

「新しい形態の葬儀を提案する」 2020.5.27

産経新聞 東北版 東北ひと語り

「新しい形態の葬儀 提案」 2020.5.30

東奥日報 県内葬儀 コロナで変化 2020.4.26
- 雑誌

FUNERAL BUSINESS 2020.6月号の緊急特集

「新型コロナウイルス・その影響と対応策」

週刊女性 2020.7.14 「コロナ時代のお葬式」

2020年度
9月～11月

事前相談会

下記●の日程(友引)に実施予定

CONSULTATION

会場 平安閣アネックス／平安閣CASITA katta 光 時間 午前10時～午後1時

9月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
長月	7	8	9	10	11	12
	14	15	16	17	18	19
	21	22	23	24	25	26
	28	29	30			

10月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
神無月	5	6	7	8	9	10
	12	13	14	15	16	17
	19	20	21	22	23	24
	26	27	28	29	30	31

11月	火	水	木	金	土	日
霜月						1
	2	3	4	5	6	7
	9	10	11	12	13	14
	16	17	18	19	20	21
	23	24	25	26	27	28
	30					

VR(仮想現実)ゴーグルによる
CASITA各施設見学も承ります。



LINEによる事前相談を始めました

スマートフォンでLINEご利用の方は、右のQRコードよりご連絡ください。メッセージにて相談希望の旨、お申し付けいただければ、折り返し連絡させていただきます。

分かりやすいLINEビデオ通話機能を用いた相談も承ります。
直ぐにお返事できないこともありますので、ご了承ください。



株式会社 **リンクモア** × GOMA

GOMAアートプロジェクト

作品展示 8月下旬～ 11:00～15:00

会場 平安閣 CASITA katta 光
青森市勝田2-18-4

観覧
無料

都合によりご覧にならない場合があります。
あらかじめ、下記よりご確認いただければ幸いです
リンクモア 電話 017-735-1407

再生の扉
開けGOMA!



新たな扉をアートとともに開く

めめんと青森

NO.2

2020年9月1日発行

発行：株式会社リンクモア
〒030-0822 青森市中央1-27-10

編集：teco LLC.

本誌からの写真、文、イラストの
無断転載を禁じます。

ご葬儀に関するお問い合わせ

TEL 017-735-1407 24時間受付 年中無休

株式会社 **リンクモア**

〒030-0822 青森市中央1-27-10
<https://www.e-gojokai.com/>



平安閣CASITA	〒030-0812 青森市堤町2-4-2
平安閣CASITA光	〒030-0821 青森市勝田2-18-4
平安閣CASITA雫	〒030-0944 青森市筒井八ッ橋39-5
平安閣アネックス	〒030-0812 青森市堤町2-4-1
平安閣本館	〒030-0812 青森市堤町2-4-16



リンクモアは持続可能な開発
目標SDGsを支援します。